

令和5年9月号

うつみ進学塾

東雲 (しののめ)

vol. 5 4 (295)

今年の夏も猛暑、猛暑と言われましたがいかがだったでしょうか。私の場合、今年の8月はちょうど15日くらいを境に大きく前半と後半に分けることのできる1カ月となりました。この文を入れている現在、まだ退院の確約はいただいていないのですが、みなさんのご存じの通り、8月20日の深夜に救急車で津島市民病院へ搬送され以来、約1週間の入院生活を送っています。みなさんには多大のご迷惑と不安を与えてしまったこと申し訳ありませんでした。今はすっかり元気になり、こうしてお手紙の本文も作れるようになりました。お医者さんに言われることには、このまま症状が治まれば週明けにも退院できるとの事。このお手紙をみなさんに渡すときには自分も塾に居れますように！その後、28日に無事に退院できました。あらためて、ご心配をお掛けしてすいませんでした。



暗い話題はさておき、今年の夏休みは6年ぶりに合宿を行いました！行き先は、私の大好きな奈良県明日香村。そこで2泊3日を過ごしました。明日香村は、歴史で勉強する奈良時代の平城京に都が移される前



に都がおかれていた所です。 ちょうど聖徳太子（厩戸皇子）が活躍し、大化の改新が起こったり、日本最古の貨幣である富本銭が発見された場所でもあります。 今回の合宿では、そんな教科書に載っている所を中心に足を運びました。

私が今回、一番感動した場所はキトラ古墳の彩色壁画の実物の朱雀の限定公開に参加できたことでした。 少し前から期間限定で行われていましたが、ハガキを出しても当たらなったり、公開時期がテストと重なったりしていつの頃からか完全に諦めていたのですが、今回の合宿にぴったりの形で見ることが出来るなんて、私のテンションが爆アガ



りしていたのは言うまでもありません。 そもそもキトラ古墳とは・・・7世紀末から8世紀初頭に作られたとされる小さな円墳です。 実際の壁画を見た後に、

みんなと行った裏山みたいなところが現場になります。 石室の中には、今回拝見できた朱雀以外に、青龍・玄武・白虎の絵が描かれており、天井には星宿図と言って当時の人たちが見ていた星空が描かれています。 もちろん、壁画館では本物そっくりな復元した様子も見ることができます。 しかし、やはり本物の持つ底言えぬパワーには圧倒されるものがありました。 1000年以上前の人たちが、どんな思いで被葬者を偲んで壁画を描いたのか？ 有力と言われると言われる被葬者たちの事を考えながら今にも壁画から飛び立ちそうな真っ赤な朱雀と共に過ごした時間は本当に一瞬でした。

今回の明日香村で、明日香村の全てを知ったなんて考えてはいけません。ボランティアのおじさんが熱心に語ってくれたりして？時間を使ってしまったため？周れなかったところがたくさんあります。それらが、教科書には決して載ることのない



明日香村の不思議でもあります。決して心霊系の怖～いものではなくて、どちらかと言うとほのぼのする物たちです。機会があれば、また一緒に行きましょう。もちろん、今回参加できなかった人たちも一緒にね。民宿若葉のおじさんやおばさん、お孫さんたちも待っているでしょうから。



合宿から帰って来て、私はまだ会ったことのなかった一人の中学生の男の子に会うのを楽しみにしていました。彼は三重県に住んでいる、私の知り合いのお孫さんで中学生でありながら、日本の色んなところで個展を行っている画家です。お名前を、鳳生

(ousei)と言います。合宿から帰ってきた翌日、一宮で開かれていた個展で実際に絵を描くところが見れるという事で、当日の予定を併せてくれた子ども達と足を運びました。当日は、左にあるような絵を正味3時間弱で描きあげてくれ予想もつかない絵の出来栄えに感動する事しかできませんでした)。

彼が絵を描いていくキャンパスは、まるで1本の映画を観てい



るようで時間の流れが、あっという間でした。 少しでも鳳生くんと話す機会があったのですが、会話の端々に子ども特有の無限大の可能性を感じることが出来、今後の活躍が楽しみにになりました。 また、近くで今回のような機会がありましたら、是非足を運びたいと思っています。

こうして続けて素晴らしい作品に触れ合う事の出来た8月でした。 絵を描くという行為で周りの人はもちろん、世代を超えて感動を与え続けられる・・・そんな人たちに、ちょっぴり？いいえ、強く嫉妬した8月でもありました・・・

そうこうしているうちに9月。 また、新学期が始まります。 夏休みが終わったら、早速テストが始まります。 心機一転で頑張っていきましょう。 これからは、一人一人が具体的な目標に向かって突き進む時です。 受験生は個々の志望校に向かって、そうでない人は今の自分を更なる高みへと導くべく具体的な目標を持って挑みましょう。 これから、また私も努力しますのでよろしく願いいたします。

ジョバンニ・パオロ・パニーニ

